

(2)

2

【特許請求の範囲】

飛翔液滴を形成して記録を行なうインクジェット記録ヘッドのインク流路を形成するインク流路溝が感光性組成物を使用して形成された章を特徴とするインクジェット記録ヘッド。

⑤ 日本国特許庁(JP) ⑥ 特許出願公開

⑦ 公開特許公報(A) 平1-125241

⑧ Int.Cl.⁷ B 41 J 3/04 ⑨ 出願番号 特願1990-051777
⑩ 発明の名称 インクジェット記録ヘッド

⑪ 特願 昭63-23327

⑫ 出願 昭55(1980)3月6日

⑬ 特願 昭55-2854の分割

⑭ 発明者 杉谷 博志 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
⑮ 出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
⑯ 代理人 弁理士 丸島 健一

⑰ 発明の要約 発明の要約 1 (全1頁)

(57) 【要約】

【目的】 基板上に感光性樹脂を硬化して形成された層から成る壁部分と蓋部材とによってインク流路の断面を形成し、熱エネルギー発生素子を備え、壁部分の配置間隔が1つのインク流路内の作用部より吐出口側で狭くなっている事により、安価で小型であり、信頼性の高いインクジェット記録ヘッドを得る。

【構成】 基板101の所定位置には熱エネルギー発生素子102が所定間隔定的に配置される。インク流路溝103が基板上の感光性樹脂を硬化して形成された層から成る壁部分で形成され、壁部分の配置間隔が1つのインク流路内において作用部106よりインク吐出部108側を狭くする様にして壁部分を設けてある。壁面が平滑になつており且つ吐出のためのエネルギーが吐出口105側に効果的に伝わるので、熱エネルギー発生素子102が発生した吐出エネルギーをより有効に吐出口105側に導くことができる。基板101の熱エネルギー発生素子102側に上蓋109を接合してインクジェット記録ヘッドが製造される。

【インク ジェット 記録 ヘッド 基板 感光性 樹脂 液 滴 熱エネルギー発生素子 流路溝 作用部 吐出部】

(4)

特選平1-125241 (2)

著者謝表 有 発明の数 1 (全7頁)

①44 頁 附63-233227

出 庫 第55(1980)3月6日

04 順 陽55-28654の分割

し兄弟の名称

[illegible][illegible]

ソノ如きことによるベトナム政府の財政赤字等は上記の調査からしても判明し得るものではなく、総じて、調査された国連ベトナムの特性の低下、或いは、参加者の調査によるコスト上昇、一部の調査国でベトナムがベトナムに記録ベトナムの財政赤字の低下を招来している。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

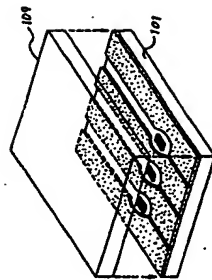
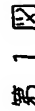
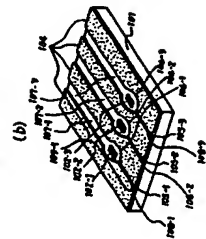
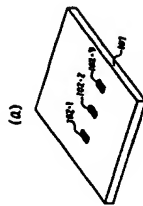
(5)

特國平1-125241 (3)

[illegible]

この他、例えばデュポン社の310-マニホークト
サリマコーン、ELSTON、ゾルマースタ
7308、7408、740PB、740PB、SMI等の商品名
で登録されている聴覚性風威嚇も有効に本特許に
おいて用いられる。

還元性製成車の所像力が所望のオキソアイス低・
インク産除（環ノズル）位置を下回る場合では、
その部分のみ特別加工機（例えばシリコンエベ
ーカフアング用の研削機）を使用して特別加工し



でも良い。

● 國情の簡単な説明

第1股(a)、(b)、(c)は各々、本発明の組織へア
Yの好適な実施態様の1つの組立を説明する為
の模式的組立工数図である。

101	... 運賃	103	... 運賃
102	... 運賃	104	... 運賃
103	... 運賃	105	... 運賃
104	... 運賃	106	... 運賃
105	... 運賃	107	... 運賃
106	... 運賃	108	... 運賃
107	... 運賃	109	... 運賃

社會文化批判／李卓人

代理人 (AGENT) 分置士 丸 島 領 一

(9)

1300 平 1-125241 (4)

5. 補正の対象

昭和33年10月17日

52

「正の虫歯」

明細書全文を別紙の通りに補正する。

年 終 計 劃 區 238227号

トランプ大統領へ

事件との関係

東京都大田区下丸子8-30-2

(199) 年々ノン勝定合社

代價者 實 來 信 11 時 睡

•

平146 東京都大田区下丸子3-30-2

キヤノン株式会社内（電話718-2111）

(1992) 卷四十一 頁一

特許方

●
●
●

22

三、國際人權公約

[illegible]

3. 発明の熟練な説明
【産業上の利用分野】

-279-

-274-

(7)

約國平1-125241 (8)

製造且つ広間の機械加工は精々買入され、夏には、大産生地のなかからはユーストの区域の意味で少
量の良さが買入されている。

【兎明が解決しようとする意図】

[illegible][illegible]

然して、この書の内容は、我々ならぬ讀者を以て、ヤンナ
とハトに關するものなる事を證明せしむる。
 本書は、上掲の如く述べた如く、我々
 である限り、我々の爲に、ヤンナと、ハトに關
 するものなることを目的とする。
 又、ヤンナの事を以ての記述は、我々ならぬ
 讀者の爲に書かれたるものなる事を以て、ヤンナ
 と、ハトに關するものなる事を以てする。

【問題を解決するための手段】

[illegible][illegible][illegible]

以下、本研究所を組織に就いて、其構造に就き、
第一図(a)、(b)、(c)は、本研究所の
ヤングのセルに就いての構造に就いてを説明す
るための図である。

アルミナ等のセラミックス、金属、プラスチック

[illegible][illegible]

1. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 2. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 3. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 4. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 5. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 6. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 7. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 8. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 9. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に
 10. 日本銀行の貸付は、日本銀行の貸付金に

特選平1-125241 (6)

同、従来の貨幣で買取られているモノチヤウツ
スチヤアの記憶ハットと異様に、本貨幣額におい
ても筆記ヤウツ類のヤウツ供給額を超過してい
は、貨幣のヤウツ供給に超過する共済ヤウツ供給
を伴われている。

[illegible][illegible]

2000、現在はオーストラリアの10-4471と
トマリニー・リントン、RISTON、ヤ
ナー・7305、7405、730FR、
740FR、SN1号の面番で生産されている
機材は、現在も所蔵にあり、現存に
ある。

【附录】

[illegible]

